

神戸線新型車両の建造について

阪急電鉄では、このたび、神戸線で運用している8000系の次世代モデルとして、新型の9000系車両を建造し、来年夏から運用を開始することといたしました。

この新造車両は、9300系に引き続き「すべてのお客様に快適な移動空間」をコンセプトとして、新たに、LCD表示器を採用した車内案内情報装置の導入や、車両の前面および側面の列車種別・行先表示に視認性の高いLED化などを行います。

なお、車両製造につきましては、9300系に引き続き日立製作所に発注することとしております。詳細は次のとおりです。

1. 車両形式 9000系
2. 投入時期 2006年夏
3. 新造車両・編成数 8両×1編成
4. 運行路線 神戸線
5. 車両の主な特徴
 - 外観
 - ・伝統的なイメージを継承した安心感と永続性のあるデザイン
 - ・マルーンとアイボリーを基調とした塗装
 - ・片側3扉のお客様乗降口
 - 内装・設備
 - ・全ての座席をロングシートとし、シートに仕切りを設置
 - ・伝統的な木目調の壁とグリーンのシートを継承
 - ・窓、乗降口扉ガラスの大型化およびUVカットガラスの採用
 - ・一部下降窓化
 - ・天井高による空間拡大
 - ・半間接照明の採用
 - ・車内案内情報装置としてLCD表示器の採用
 - ・種別、行先用LED表示装置の採用
 - ・車椅子スペースの設置
 - ・貫通路扉の自動化
 - ・乗降口扉に開閉予告表示灯を設置
 - その他
 - ・VVVF制御方式による省エネ化
 - ・IGBTインバータ採用による低騒音化
 - ・空調機器の能力強化および除湿機能付加
 - ・アルミ合金製ダブルスキン構造による車内遮音性の向上
 - ・完全自立型モジュール組み合わせ工法による各部材のリサイクル性向上

以上

【添付資料】

「神戸線新型車両・9000系」外観写真、車内イメージ写真、LCD表示器設置イメージ写真



「神戸線新型車両・9000系」外観写真



「新型車両・9000系」車内イメージ写真



「新型車両・9000系」LCD表示器 設置イメージ写真